

頑張る地方応援プログラム

都道府県名	北海道	市町村名	洞爺湖町
プロジェクト名	縄文遺跡保存活用プロジェクト	新規・継続の区分	新規
プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標	<p>(目的、概要) 本町に所在する史跡入江・高砂貝塚は一部を整備し、地域の学習教材として活用されている。縄文遺跡を中心とした文化的観光資源を活用し、地域の特性を活かした魅力ある観光地づくりを目指す。</p> <p>(具体的な成果目標) 縄文まつりの実施 H20年度 0人 H21年度 200人 縄文ものづくり体験の実施 H20年度 20人 H21年度 150人 縄文講演会の実施 H20年度 100人 H21年度 500人 展示会の実施 H20年度 100人 H21年度 500人 縄文シティサミットの実施 H20年度 0人 H21年度 400人 遺跡説明会参加者 H20年度 20人 H21 40人</p>		
プロジェクトの期間	平成21年度	政策分野の分類 (~)	観光振興・交流プロジェクト
住民への公表の方法 (ホームページアドレス等)	http://www.town.toyako.hokkaido.jp/10_others/osirase/chihou_ouen_PG.jsp		
プロジェクトを構成する具体の事業・施策			
名称	事業概要	総事業費 (単位：千円) (うちH21事業費)	
縄文まつり開催事業	縄文遺跡を活用したイベントとして史跡入江・高砂貝塚を舞台に縄文まつりを開催して町内外に広くPRする。町民との協働により実施する。	110 (110)	
縄文ものづくり体験事業	町内の文化財に対する理解を深めるため、竪穴住居づくり、縄文土器づくり、石器づくり、勾玉づくりなどを実施する。町内外の子どもから大人までを対象として希望者を募る。ボランティアなど町民との協働により実施する。	30 (30)	
縄文講演会開催事業	町内の文化財に対する理解を深めるため、専門家を招いて講演会を実施する。町民との協働により実施する。	1,132 (1,132)	
縄文特別展開催事業	町内外の縄文遺跡から出土した遺物を中心として、入江・高砂貝塚館に展示する。写真パネル等の作成には、町民から希望者を募って実施する。	85 (85)	
縄文シティサミット開催事業	町内の文化財に対する理解を深めるため、全国の縄文遺跡を有する自治体やボランティアの参加を呼びかけ、記念対談やパネルディスカッションを開催することにより、町民と協働して史跡入江・高砂貝塚や洞爺湖温泉などへの誘致に努める。	1,832 (1,832)	
高砂貝塚保存整備事業	高砂遺跡の分布等を確認し、地域住民への現況説明を実施する。出土した遺物は資料館に展示し、教育普及に活用する。	4,511 (4,511)	
総 計		7,700 (7,700)	
その他特記事項			